下松市人材育成基本方針（抜粋）

第２　職員像

１　求められる職員像

職員一人ひとりが、市民の視点に立って質の高い行政サービスの提供ができるよう、自主的に業務の仕組みや進め方を見直し、改善し続けることが求められることから、これまでの「求められる職員像」を維持・継承することとします。

市民の立場で考え、ともにまちづくりを進める職員

「市民が主役」であるとの意識を持ち、市民の立場で考え、市民サービスの向上に主体的に取り組み、行政情報を市民と共有し協働してまちづくりを進める職員

市民に信頼され、豊かな人間性を有する職員

下松市職員として高い倫理観と使命感を持ち、全体の奉仕者として常に責任ある行動を心がけ、市民から信頼されるとともに、思いやりと優しさを有する心豊かな職員

先見性を持った、創造力ゆたかな職員

社会環境の変化や新たな時代の動きを的確に把握して地域の課題を発見し、広い視野と先見性を持って挑戦し、解決にあたることのできる職員